



福岡県立筑紫丘高等学校

主体的・対話的で深い学びの実践に向けた授業改善の取組み

学校紹介 ・ 普通科 1 学年 10 クラス, 理数科 1 学年 1 クラス

育成したい生徒の資質・能力

『高い学力, それを活用して課題を解決する力, 新たなものを創造する力』



- ・ 十分な知識及び技能の習得
- ・ 主体的に学ぶ態度の育成
- ・ 他者との協働性の育成
- ・ 言語活動の充実による思考力, 判断力, 表現力の育成
- ・ 理数教育の充実を通じた課題解決能力の向上

- ・ 総合的な探究の時間の活用 … 個人研究 → 発表 → 振り返り ⇒ 協同研究 → 発表 → 振り返り
- ・ 特別活動の活用 …………… ホームルーム活動・生徒会活動, 学校行事の運営

本年度の授業改善の方向性 … 次の 3 つを満たす授業を設計, 実施すること

主体的な深い学び
に誘う授業

観点別評価法の実践を組織的・試行的に行う授業

生徒の発達段階と
ニーズを踏まえた授業

国語の授業例

セルフチェックシートを活用した自己評価による深い学びを目指した授業の試み



授業前後で評価規準を確認, 自己評価。

「目標・課題の設定」

↓
「目標達成・課題解決」
の流れを生徒自身が作る。



ペアワークの様子

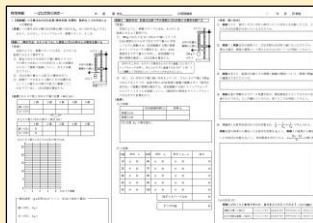
理科 (物理) の授業例

観点別評価法の実践を組織的・試行的に行う授業の試み

生徒が自ら題材を設定して探究する主体的態度を評価。



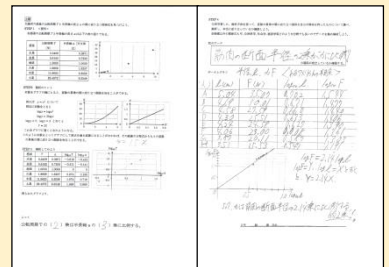
教室に於ける実験の様子



一枚ポートフォリオ風レポート

技能, 思考力
・ 判断力を評価。

いかに実験機会を多く持つか
が課題。



発展的内容に関するレポート

今後の方向性

- ・ 組織的な評価方法および基準の確立・実践 → 段階的ルーブリックの作成と活用 (年度→学期→単元)
- ・ 講義形式とグループ形式を双方向で関連づけた授業改善 (主体的に学びを深める動機付けを重要視)
- ・ 毎年度末に各教科の実践を冊子にまとめ, 実践報告・発表の場を継続的に設定